

地方公営企業集中改革プラン

大間町下水道事業

1. 経営改革の推進

H11年度から16年度までの取組内容

1 支出削減

大間町浄化センター1期建設工事

建設時の取り組み

1)日本下水道事業団と実施設計及び建設工事に係る協定を締結し、専門技術職員の雇用増員に対処した。

2)オキシレーションディッチ躯体については、日本下水道事業団で開発したプレハブ式オキシレーションディッチ躯体とすることにより、工期の短縮及び経費の縮減を図った。

この事による経費の縮減額は2億4千万円となります。

管渠工事の取り組み状況(H11年度から16年度)

1)小型マンホールを併用することにより経費の縮減を図った。

小型マンホール55箇所7百万円の現額となります。

大間町浄化センター維持管理(H16年度)

1)大間町浄化センター維持管理については、当初より業者委託により管理運営をすることによって職員の増員に対処した。

H17年度から21年度までの取組内容

1 収入確保策

(1) 料金の見直し

・21年度から、料金値上げ(改定率平均3%) [21年度から]

(2) 接続率の向上策

・地区説明会等の実施により、18年度から毎年10%ずつ接続率向上(接続率33%) [18年度から
1,200千円/年]

2 支出削減方策

(2) その他経費削減策

物件費の節減

・年度 50千円削減し、年度以降 100千円ずつ削減 [19年度から]

2. 定員管理・給与の適正化

H17.4.1からH21.4.1までの定員管理の数値目標

< 年度別職員数の推移 > (単位：人,%)

	(A)					21 (B)	期間内計 (B)-(A)
職員数	2	2	2	2	2	2	0
対前年度増減		0	0	0	0	0	0.0

H11からH16までの定員管理の実績

< 年度別職員数の推移 > (単位：人,%)

	(A)					(B)	期間内計 (B)-(A)
職員数	2	2	2	2	2	2	0
対前年度増減		0	0	0	0	0	0.0

H11からH16までの諸手当の点検状況

(1) 諸手当の総点検結果（その他の手当の適正化）

・ 期末手当4から5%カットの実施（一般会計と同一）

〔 16年度
114千円/年 〕

H17.4.1からH21.4.1までの諸手当の総点検結果

(1) 諸手当の総点検結果（その他の手当の適正化）

・ 期末手当4から5%カットの実施（一般会計と同一）

〔 17年度
110千円/年 〕

3. 経費節減等の財政効果

市町村名：大間町

・H17年度から21年度までの取組内容

(単位：千円)

項目	主な内容	開始時期	効果額					計
			17年度 見込	18年度 見込	19年度 見込	20年度 見込	21年度 見込	
収入	未収金の徴収対策							
	料金の見直し	・21年度に平均3%改定 21年度					274	274
	未利用財産の売り払い等							
	その他	・接続率年間10%ずつ向上 18年度		1,200	2,400	3,600	4,800	12,000
支出	職員削減（議員含む）							
	うち退職者の不補充の場合の効果額							
	嘱託、臨時、派遣職員等の活用の場合の効果額							
	給与等削減	・期末手当4から5%カット 17年度	110					110
	民間委託による事務事業費削減							
	その他	・物件費の節減 19年度			50	100	100	250
合計			110	1,200	2,450	3,700	5,174	12,634
(参考) 一般会計繰入金軽減額			110	1,200	2,450	3,700	5,174	12,634